

コミュニティしまつやま

第12号（平成26年6月16日発行）

発行：松山地区コミュニティ振興会連絡協議会

住所：酒田市地見興屋字前割9-4

電話：0234（62）2942

今後のコミュニティ振興会

のあり方は

松山地区コミュニティ振興会

連絡協議会 会長 齋藤 勝

平成二十一年度より4地区が足並みを揃え、コミュニティ振興会が立ち上がりました。以後5年が経過しながら、旧町時代の財産を大切にしながら事業を進めてきたところです。

松山地区コミュニティ振興会連絡協議会も平成二十二年度に立ち上がり市民体育祭等の全市的な体育事業等に参加と、視察研修や職員研修会を実施し研鑽してきました。

公民館からコミュニティ振興会と移行し、これまで協働によるまちづくりの名目に二分の一事業費補助を受けそれぞれ事業を行っております。

しかしながら、急速に進む少子高齢化社会、限界集落への危機感等々の地域課題が山積みなっている状況において、補助要綱の緩和、課題解決に向けた事業補助枠を新たに設けるなど、コミュニティ振興会への補助の在り方を見直す時期に来ているのではと思われま

す。松山地区全体に呼びかけし行ってきた社会体育事業、生涯教育事業等々は、地区コミュニティへシフトを移し、その事務的な業務は多岐にわたり、役割と意義は年々重要になっております。

連絡協議会の意義、地域における必要で大切な事業を再度認識しながら、本来の意味での行政と地域住民との協働作業により地域づくりを進めたいと思

います。コミュニティ振興会の必要性と業務にご理解とご支援をいただきよろしくご協力をお願いします。

コミュニティ振興会に

期待するもの

松山総合支所長

池田 成男

松山の四地域でコミュニティ振興が発足して五年が経過しました。新制度移行の過渡期における課題も乗り越えて、地域のために自ら考え、自ら行動する、地域に欠かせない組織として定着し、今では、防災であり、福祉や防犯、青少年の健全育成など、幅広い活躍をされています。

ところで、地域の人口減少の流れは今後さらに進行することが見込まれ、とりわけ著しい少子高齢化の波は、商業を始めとして学校や医療など、連鎖反応的に様々な分野に影響を及ぼしています。



少子高齢化が続く中で、地域のこれからを心配する声も聞こえて参ります。

高齢化率は50%を超え、そして高齢者世帯が増加していくことが想定される中で、元気で、そして地域でお互いに助け合い、生き生きと暮らすことができる、そんな仕組みづくりをコミュニティ振興会の皆さん、関係する団体の皆さんと一緒に進めて行きたいものだと思います。